

まってるすけ高柳

～こども自然王国春の随想～

「春の虫たち」

プレイリーダー 中田 功大

○高柳ガールのスキー場は3月12日の感謝祭をもって、今期の営業を無事に終えることができました。ちょうどスキー場が終わるこの時期になると、私の好きな虫たちを多く見かけるようになります。

○まず、春先にこども自然王国で見かけるのは、 TENTUUMシヤカメムシです。よく見かけるのは、仲間と身を寄せ合い集団で越冬することや、木の隙間のみならず、民家の壁の周辺など、身近なところで冬を越すからでしょう。

○個人的には、春を見つけたようでちょっと幸せ気分になります。しかし、もっと心が躍るのは、チョウを見つけた時です。今年1番に見つけたのは、アカタテハでした。赤と黒のツートンカラーが目を惹きます。飛ぶ昆虫は体をしっかり温めないと飛べません。ですので、見つかりると春の深まりを感じます。

○わんぱく広場がオープンする4月の中旬にもなれば、春の女神ギフチョウや、ブルーのラインが光るルリタテハ、顔が尖った変わり者のテングチョウが見られることでしょう。虫の少ない冬を乗り越えた反動で、この時期は毎年ワクワクが止まりません。



カメノコ TENTUUM



アカタテハ

「見つけた瞬間にとりこになるジョウビタキ！」

プレイリーダー 梅田智仁

○今回どうしても紹介したい野鳥。それがジョウビタキです。頭部が白、お腹がオレンジ、背中が黒、結構インパクトのある配色となっています。大きさは、14cmとあのどこにでもいるスズメとほぼ同じ大きさですが、尾羽が少し長いのでその分大きく見えます。

○この尾羽を小刻みに揺らしながらお辞儀をする様子がとってもかわいらしく、見つけた人を虜にします。こども自然王国の窓際にやってくることもあり、とってもかわいらしいので、ついつい見とれてしまいます。(野鳥を観察するのも立派なお仕事なのです！)

(裏面に続く)